

マーケット・インによる流通・販売戦略

所得向上を目指した戦略的な生産活動

生産活動を支える強固な生産基盤

流通・販売の強化

1 消費者等の理解を促進し、需要の拡大を図る

- モニタリングや米の全量全袋検査等により安全を確認し、検査結果を消費者等に正しく、タイムリーに発信します。
- 安全確保の取組が県内外の消費者、流通業者に「伝える」わかりやすい情報発信を行います。
- 認証GAPの取組について、消費者や流通関係者の認知度を高め、福島県産農林水産物の信頼を高めます。
- 地元食材や県産材の地産地消を進めるほか、食育や木育等による理解促進により需要の拡大を目指します。

2 販売棚を取り戻し、新たな販路を開拓する

- 消費者ニーズの把握や長期かつ安定的な供給体制の強化により『常設棚』や『旬の棚』を確保します。
- 全国の消費者への直接販売の拡大に向け、オンラインストアの販売を強化します。
- 販売促進イベントや商談会等により販路の確保を図ります。
- 水産エコラベルの認証取得と鮮度保持による高付加価値化の取組を支援し、販路回復を図ります。
- 海外マーケットへの展開を進めるため、海外での商談会など、輸出拡大に向けた環境整備を支援します。



福島牛の定番販売再開



大手オンラインストアでの県産品販売キャンペーン

3 競争に打ち勝つため、ブランディングをすすめる

- 本県産の素材の良さ、品質の高さ、オリジナリティ等の強みが消費者に浸透するよう、戦略的にブランドの確立を目指します。
- パッケージデザインの改善等により、商品や産地のイメージ向上を図ります。
- テレビCMやアニメ、「ふくしまプライド。」フェア等を通し、国内外の消費者等に魅力や生産者の誇りを発信します。
- 「ふくしま満天堂」を通し、6次化商品の販売を拡大します。
- 2020年東京オリンピック等への供給を目指し、食材調達や木材調達の基準である認証GAP、水産エコラベル、森林認証の取組を拡大します。



アニメ「You Can Enjoy！」



生産活動の拡大

1 規模拡大や効率化により生産力を強化する

- 担い手へ農地の利用集積を進め経営規模の拡大を図ります。
- 地域農業をけん引するプロフェッショナル経営体や100ha規模のメガファーム、畜産クラスターの中心となる経営体等を育成します。
- 米政策の見直しに対応するため、酒米・飼料用米等の作付拡大、水稻から園芸品目・畑作物等への転換など水田のフル活用を促進します。
- 高性能機械やICT等技術を活用した園芸経営モデルの実証を行い、土地利用型園芸作物等の大規模経営体を育成します。
- 施設園芸の大規模化による生産量の増加や長期安定出荷を目指します。
- 果実の輸出拡大に向け、樹園地における生産体制の整備を支援し、所得の向上につなげます。
- 水産資源を管理しながら、少ない労力で高収益をあげる「ふくしま型漁業」を実現します。
- きのご生産施設の整備等により、収益性の高い経営体の育成、木材需要の創出を通じた木材産業の活性化を図ります。



ほうれん草の機械収穫

2 高品質、高付加価値、オリジナリティ等により産地の競争力を強化する

- ふくしま米のオール特A取得など「ふくしまイレブン」等の県産農林水産物の高品質化を進めます。
- 認証GAPの組織的な取組を強力に推進し「日本一」を目指します。
- オーガニックの取組拡大と生産流通体制整備を支援し、産地の体制強化を図ります。
- 消費者や生産段階のニーズを踏まえ、ももやぶどう、ほんしめじ、種雄牛等のオリジナル品種開発や生産拡大を進めます。
- 地域団体商標や地理的表示(GI)の登録を推進します。



会津産オーガニック農産物の初出荷発表式

3 地域資源の活用により中山間地域の収益力向上を図る

- 地域の豊かな農林水産資源を活用する地域産業6次化の取組を支援します。
- 企業との連携による地域資源を活用した新しいビジネスモデルを創出します。
- 地域の特産である「そば」「オタネニンジン」「えごま」等による特色のある産地づくりと産地の拡大を進めます。

生産基盤の整備

1 生産基盤の整備を進める

- 農地の大区画化等のほ場整備、農業水利施設の長寿命化、森林や林道等路網の整備、種苗生産体制の整備などを進めます。
- 農林漁業者の収益力向上や産地の競争力強化につながる共同利用の機械や施設等の整備を進めます。
- 森林整備の基盤づくりのため、航空レーザ計測等により路網整備計画の策定を支援します。
- 放射性物質の影響を受けたため池の調査や森林の再生に向けた整備を進めます。



大区画ほ場整備（いわき市）

2 『人』を確保し、持続可能な生産構造をつくる

- 農業では、認定農業者や新規就農者、女性農業者の育成を図るとともに、地域農業の担い手となる法人の育成や企業の参入を進めます。
- 地域農業の将来像を描く「人・農地プラン」の作成と実現に向けた取組を支援します。
- 林業では、従事者の確保と育成を進めるとともに、漁業では、後継者の就業、技術の継承を支援します。



人材育成研修（林業）

3 魅力ある農山漁村の暮らしと環境をまもる

- 日本型直接支払等を活用し、共同活動による地域環境や地域コミュニティの維持・向上を図ります。
- 鳥獣被害軽減のため、専門員の育成や総合的な対策（緩衝帯整備、電気柵等設置、有害捕獲）を支援します。
- 県民参加の森林(もり)づくり活動、体験や交流を通して、農山漁村への理解醸成を図り、環境の維持につなげます。

4 被災地の生産基盤の復旧と農林水産業の再開を加速する

- 津波や地震で被災した農地、ダムやため池、漁場、林道、海岸防災林、共同利用施設等の復旧を早急に進めます。
- 農林水産分野のイノベーションプロジェクトを加速し、先端技術の開発実証とその普及を進めます。
- 再開に必要な施設、機械、漁船等の整備を支援するほか、営農モデル実証や放射性物質対策の研究等を通し、農林業の再開、試験操業の拡大を支援します。



試験操業の水揚げ（相馬市）